

私のすすめるこの1冊

中村 翼 (社会科学科 講師)

『日本史リブレット人 28 法然—貧しく劣った人びとと共に生きた僧—』

平雅行 (著)

私たちの多くは、歴史の授業で次のように教えられてきたかもしれない。法然は、当時の仏教界の常識に反して、念仏を唱えれば誰でも極楽にいけるといふ簡易な教えを説き、これにより仏教がはじめて民衆の世界に広まった、と。しかし、こうした理解は日本史学界では、半世紀近くも前に否定されている。では、いったい何がどう間違っているのか？

本書の著者であり、日本中世仏教史の第一人者である平雅行は、こう述べる。すでに法然が活躍する以前の流行歌に、「弥陀の誓いぞ頼もしき、十悪五逆の人なれど、一度御名をととなえれば、来迎引接（極楽に迎えに来てくれること）疑はず」とあるように、「いかなる悪人であっても念仏をととなえれば極楽往生できる」という考え方は、12世紀後半には仏教界はもちろん民衆の世界でも常識となっていた。

では、法然の思想は、当時の常識をなぞったものにすぎないのか？本書が出した答えは、当然ノーだ。そもそも法然思想の核心は、「いかなる悪人であっても念仏をととなえれば極楽往生できる」というものではなく、「すべての人々を平等に救済したい」という慈悲から、阿弥陀仏は念仏を極楽往生の唯一の条件にした」と主張した点にある。つまり法然は、「念仏以外では極楽往生できない」といっているのであり、念仏以外の修行や善行を極楽往生のためには無価値と断じたのである。なんとも極端で包容力のない思

想であろうか！法然の思想が当時から「偏執（かたよっている）」と批判されたのは当然に思えるし、異端思想として国家による弾圧の対象となったことも正当とすべきかもしれない。

しかし、本書を読みすすめれば、法然が向き合った現実および彼の思想の独創性の本源がみえてくる。仏教が根付いた日本の中世社会で広く説かれた常識の一つに因果応報論がある。本来、善行にはよい報いがあるとして人々に善行を勧める思想だが、現実には、差別や格差を正当化する言説としても機能した。しかも中世社会は身分社会である。結果、貴賤の別や貧富の差は、社会システムの問題ではなく、前世を含む本人の罪業・怠慢のせいとされ（究極の自己責任論！）、矛盾は隠蔽された。そして中世仏教の主流は、このような人間の本質的不平等を前提に、「悪人」を含む多種多様な人々を救済する思想として説かれ、広く受け入れられた。法然は違った。阿弥陀仏の前では人々は等しく「愚者」であるとし、現実の差別を乗り越え、この世における人間の平等を説こうとした。「智慧第一の法然房」と讃えられ、学僧としての名声を得ていた法然が「偏執」と非難され、弾圧を受けてなお、極楽往生の手段を念仏に一元化した理由は、ここにある。現実社会の矛盾を直視し、「貧しく劣った人びとと共に生きた」法然であればこそ、到達しえた境地といえよう。



新入生のみなさんへ

ご入学おめでとうございます。みなさんの大学生活が豊かなものとなるよう、図書館職員一同、心からお祈りしております。図書館は、正門からのメインストリートに面した4階建ての建物で、1階には学生課があります。まずは一度見に来てください♪

北の2階にはグループでの学習に大人気の個室やPCやソファが設置された大部屋があります。

西・南の2階には学習参考書や教科書などが並んでいます。

4月から再開します！ 学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

【場所】北館2階 ラーニングcommons
【時間】16:30~18:30の該当時間
※実施日時は、図書館ホームページやラーニングcommonsなど図書館の掲示でお知らせしますので、最新情報を確認してください。



どんどん
利用してください！

企画展示室は学生の皆さんでも利用できます。自分たちの作品の展示などに是非！

雑誌や小説などがあります。気軽にのぞいてみてね！

教えて？図書館のこと！

本は何冊まで借りられますか？

学部生は7冊2週間、院生は12冊4週間までです。

パソコンは使えますか？

北館2階ラーニングcommonsおよびグローバルスクエアに情報処理センター（IPC）のパソコンがあり、IPCと同じ条件で利用できます。また、館内には無線LANが整備されていますので持ち込みのノートPCでも利用できます。

本以外にも借りられるものが？

あります。CDやDVDなどの視聴覚資料などがあります。また館内限定ですがノートPC、プロジェクター、スキャナの貸出も行っています。

もっと小説なども読みたい！

リクエスト企画などで娯楽小説なども受付しています。また、府内の公共図書館から無料で本を取り寄せて借りることができます。

電子書籍を読みたい！

TOEIC 学習本や英語の小説など英語学習向け資料が中心ですが、約120タイトルほどあります。もちろん、自宅からでも読めます。

飲食できるところってありますか？

館内では食べ物は禁止です。飲み物についてはふた付き容器(水筒やペットボトルなど)のみ、一部のエリアで認めています。ただし、ゲートの外のリフレッシュラウンジには自動販売機があり飲食OKですので、ぜひ休憩時間などにご利用ください。

もっと知りたい！そんなあなたには・・・

図書館ツアーや講習会に参加しよう！

4月2日~13日には図書館ツアー、また5月には論文の探し方や、データベースの使い方など様々な講習会を実施します。是非ご参加ください。



図書館ツアーに参加しよう！

図書館全体をご案内します。これから本学の図書館を利用しようという方におすすめです。もちろん、在学生や、以前からいらっしゃる教職員の方々も、改めて図書館にどんな設備があるかを知る機会としてぜひお越しください。また、オプションでOPACによる本の検索と館内での本の探し方を10分で簡単にご紹介します。

実施日	曜日	時間
4月3日	水	12:05~12:25
4月11日	木	12:05~12:25
4月12日	金	12:05~12:25

※オプションをつけると12:35までになります。

【集合場所】 附属図書館カウンター

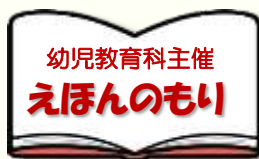
【申込方法】 希望日時、所属、氏名を明記の上
library@kyokyo-u.ac.jp まで
詳細は、ホームページやポスターで！

第32回うたとおはなしの会

【日時】 4月27日(土) 10:30~11:30
【場所】 附属図書館北館2階 研修セミナー室1
【定員】 130名 (事前申込要、先着順)

うたとおはなしの会は、今回も春を満喫できるうたやおはなしをたくさんご用意しています。大好評の人形劇は「三びきのやぎのがらがらどん」を上演予定です。

児童書コーナー (南館1階)



学生による
絵本のよみかかせ
＜4月は、お休みです＞

今月の絵本カード (学生作)

『ぱんだえほん ぱんぱんぱんだの12か月』

作：本田 恵子
絵：ひとみこばん
出版社：梧桐書院



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

リクエストと投票で 話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！（リクエストは随時受付中です）

4月の投票期間は
4月1日(月)～4月15日(月)

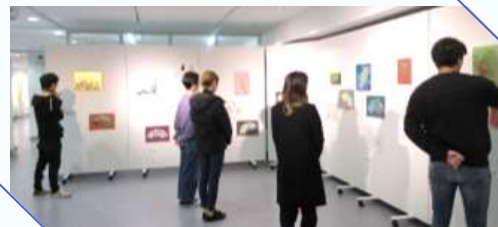
※結果によっては購入できないこともあります。
※学習研究目的のものは原則として購入しています。

企画展示室 (北館1階)

これまで、さまざまな企画展が開催されました！みなさんも発表の場としてどんどん活用してくださいね。

＜開催中＞

第三回ははじめよう日本画展(授業:日本画研究受講生)会期を延長しました！2月5日(火)～4月17日(水)
※最終日は13:30迄



教育資料館 まなびの森ミュージアム

4月の開館日
8日(月) 9:30~12:30

今月の逸品(4・5月)
展示場所：図書館
「昭和御大礼掛図」



詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。

教育資料館まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

京都教育大学紀要(大学発行の学術雑誌)に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **巻本 彰一**(理学科 教授)

発泡ポリスチレンの各種有機溶媒における溶解現象について

巻本彰一

京都教育大学紀要. 2018, No. 133, pp. 1-6.

ポリスチレン発泡体は、プラモデルや台所にある計量カップ等に使われているポリスチレン樹脂を50~100倍に膨らませたもので、以前はパソコン等の梱包材やカップ麺の容器等によく使われていました(最近プラスチックの使用量減のために、紙製品に置き換わったものも多くあります)。この発泡体はある種の有機溶媒に溶け易いので、高等学校『化学』ではそのことを利用したリサイクルを教えています。しかし授業では、発泡体を溶かす有機溶媒(例えばリモネン)と発泡体自身(ポリスチレン)との分子構造の類似性にまで生徒に探求させることがあり、生徒に誤解が生じていました。

さて、一般的に溶質が溶媒に溶解するには、溶媒分子間の相互作用と溶質分子間の相互作用の力がほぼ等しいことが必要です。もし、溶質同士の分子間力の方が大きいと溶媒分子はその分子間力に打ち勝って溶質分子を引き離せないし、逆に溶媒分子同士の分子間力の方が大きいと溶質は溶媒の中に分散できません。私たちはよく「水と油は混じらない」とか、「似たもの同士はよく混じる」とかいうのですが、化学の言葉でいうと「溶解するかどうかは、溶媒同士の分子間力と溶質同士の分子間力との関係で決まる」ということになります。この論文では、そのことを溶質が低分子だけではなく、高分子であるポリスチレン発泡体の溶解現象においても成立することを、熱力学を用いて明らかにしています。結局、溶解現象は、溶質(ポリスチレン)とそれを溶かす溶媒との分子式や分子構造の類似性とは関係がなく、溶媒分子間の相互作用と溶質分子間の相互作用がほぼ等しければ、どんな有機溶媒でもこの発泡体を溶解することが分かりました。私達は過去に学んだ知識や経験で新たな難題を理解し解決しようと努めますが、実は専門外のところに解決の糸口がある場合が多いのです。興味のある方は、論文を一読いただければ幸甚です。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 133号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2019年4月							2019年5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

4/11 前期授業開始

4/15 春季長期貸出 返却期限日

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<http://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.223 (2019年4月号)

発行日:平成31年4月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

